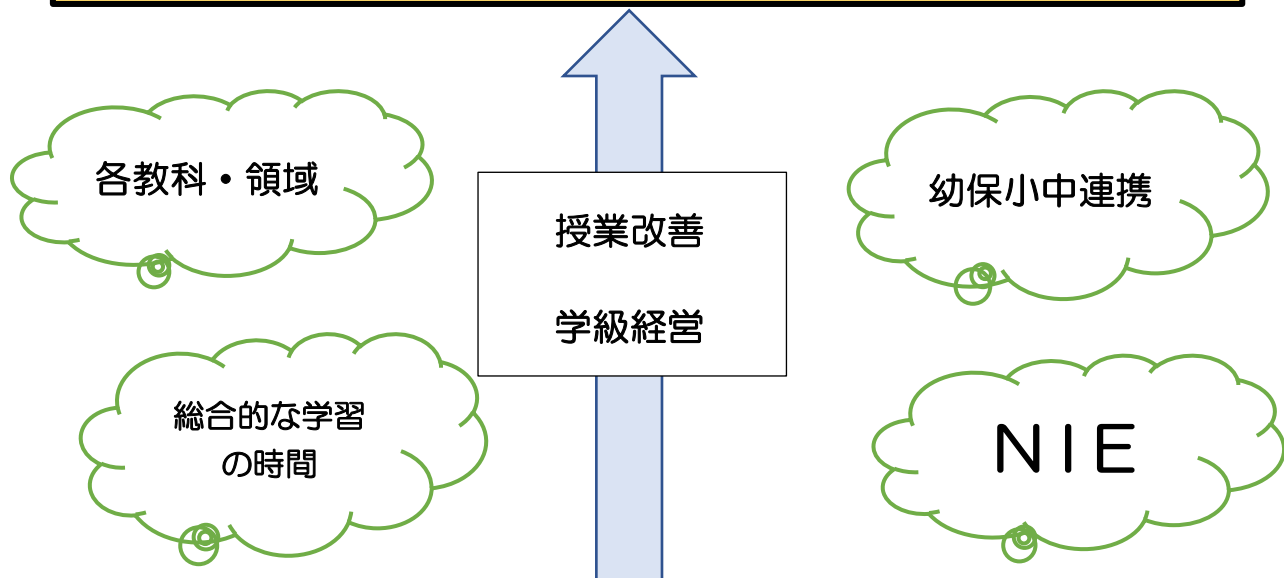


加茂小学校研究テーマ

学びを楽しみ、自ら表現する児童の育成



★主体的・対話的で深い学びのある授業づくり

★授業の本質をとらえた授業づくり

【研究の方向性】

○総合・生活科は、付ける力に照らし児童が課題を自分事としてとらえ、学びを創り、教科横断的な学習を進める。

- ・地域課題を見つけ、課題解決に向けて取り組む「ふるさと学習」
- ・「探究的な学習」「新聞づくり(NIE)」
- ・保護者、地域の人たちとともに学び合う（発信・発表・協働）

※フリースタイルプロジェクトは、今後、段階的に家庭学習で自己調整しながら進めていけるようにしていく。

○幼保小中連携を図り、中学校との授業交流や対話をする回数を増やし、互いの授業改善につなげる。⇒カリキュラム作りにつなげる。

★育ちと学びをつなぐ授業づくりに向けて

- ・今行っている授業、教育活動が次学年にどうつながっているのか意識する。
- ・前学年、次学年とも取組を理解、共有する。
- ・強み、課題を理解する。（個として集団として。自分自身のことも知る。）

そのために

◆授業を学期に2回以上参観する。（個人で調整）

- ・参観後事後交流シートで意見交流 → 研究主任に提出 → 学期末にまとめの研修

【参観の視点】

- つけたい力がみえたか
- 本質的な問いについて
- 書く活動について
- 手立て、活動内容

○研究教科・授業について

- 『書く活動』を通して「ことばの力」を育てる。

相手・目的意識をもたせた言語活動

作文、振り返りなど日常の教育活動の中で継続的・計画的に書く活動を行う。

※作文帳を全員に持たせる。

- 学年の系統性を明確にしながら研究し、実践、交流をする。（学期に2回以上授業参観）
- 体育科「体育科（保健領域）」を中心に研究を進める。
- 研究授業で学んだことや、日々の授業の話題を、学年会や低中高部会で還元し、広める。

★教材研究の仕方を交流しましょう！！

- アンケートフォームにて教材研究で悩んでいること、いいアイデアなどを集計。
- 要望に合わせた内容の交流会を行う。
- 月に1回ペースで行う。
- グループワーク → 全体交流 → まとめ